



いつもお世話になっております。今月号の事務所だよりをお届けしますので、ご査収下さいますようお願い申し上げます。

2021年分の路線価が発表されました。

1. 路線価の上昇

今年も夏に国税庁から、相続税や贈与税の算定基準となる2021年分の路線価(1月1日現在)が発表されました。堂々の全国第1位は、今年も銀座にある文具店「鳩居堂」前です。

なんと36年連続1位!

その価格は、1平米あたり4,272万円で、ひと坪当たり1億4千万円にもなります。しかしコロナ禍の影響もあり、昨年に比べ7%ほど下落しました。

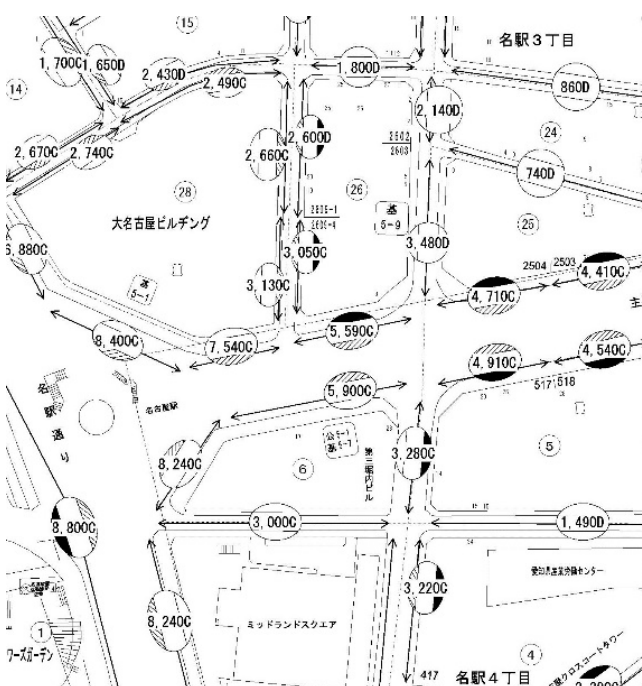
全国約32万地点の標準宅地は全国平均で前年に比べ0.5%下落し、観光地や繁華街などがマイナスに転じました。

2. 名古屋地区は

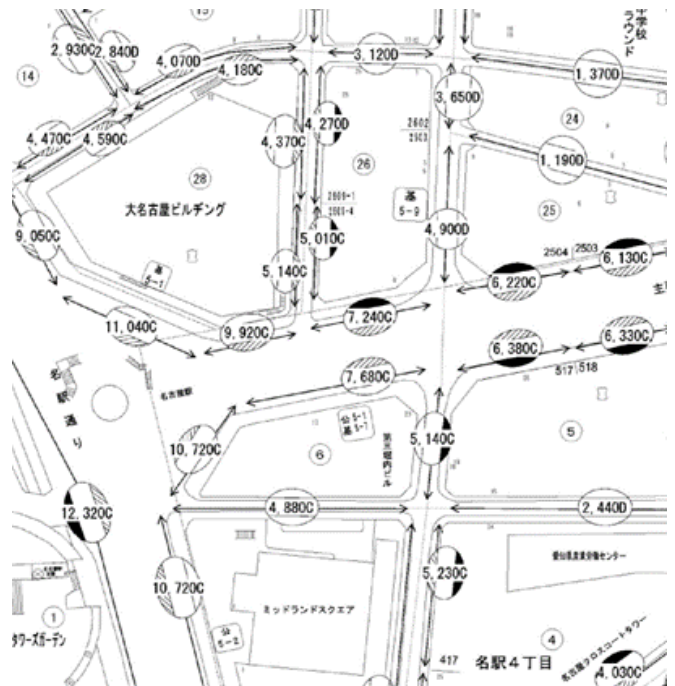
ちなみに名古屋地区の1位は、名古屋駅前のタワーズの前です、その価格は1平米あたり1,232万円で、4年前と比べると1.4倍になっています。

東京の銀座の地価に比べると3分の1以下ですが、銀座が7%下落したのに比べ名古屋駅は1.3%程の下落でしたので名駅地区の躍進が目立ちます。

しかし同じ名古屋でも栄地区等は7%程下落しており、名古屋駅の人気が窺えます。



名古屋駅前ロータリー周辺の 2017年の路線価



2021年の路線価